

リレー連載 生ヒストリー温故知新 第3回

人集め、お金集め、記録集めの日々

上原 昇 (65期)

▲ 私が関東同窓会に関わり出したのは、確か平成9年(1997)で、当時50歳になる直前の頃でした。総会の実行委員として初めての順番が回ってきましたが、現役バリバリの我々にとって、同窓会はまだまだ遠い存在でした。

今は亡きちょっと見た目の怖い幹事長の堀内忠久さん(53期)から65期に緊急動員がかかりましたが、結果として応じたのは私だけであり、それ以来、今日に至るまで約四半世紀、同窓会とのお付き合いが続いている次第です。

HPに当時の思い出をと依頼されましたので、若干自慢話めいて恐縮ですが3点記します。

☆【副幹事長時代には、同窓会ゴルフ同好会の世話役】を務めました。

特に2006年から2013年までの7年間は、幹事として参加者集めに努力しました。

その頃は、同好会発案時の会長石井光春さん(54期)はじめ50期台の諸氏もお元気で大勢参加されました。

一人で事前準備・当日の運営と大変ではありましたが、多くの皆さんの協力で、最盛期には毎回40名を上回る参加があり、やり甲斐のある仕事(?)でした。

何回か続けているうちに、どうしてもコンペはマンネリ化してきます。どうしようかと悩んでいる時、同好会先代幹事の宮島光男さん(55期)から「マンネリでも続けていくことが大事だよ」と励まされました。2014年に、69期の古畑克巳さんたちに幹事をバトンタッチできたのも忘れ難い思い出です。現在同窓会にはいくつかの同好会や研究会がありますが、ゴルフ同好会がその先駆けとなったと自負しています。

☆【副会長時代(2期6年)には、会報の広告担当】を務めました。それまでも広告の掲載はありましたが、そんなに広告集めに力を入れていませんでした。同窓会財政の健全化を図るためにも安定的な広告収入の確保に力を注ぎました。当時の会長滝澤進さんの61期をはじめ役員期の皆さんの協力もいただいて、広告収入の底上げが出来ました。ただ、メールで何度か気軽に広告の依頼を続けている時、ある広告主の先輩から「簡単にお金が集まると思うな」と厳しいお叱りを受けたことは教訓としての苦い思い出です。

☆【会長に就任した2017年は、ちょうど関東同窓会創立60周年】を迎えた時でした。

これまでの同窓会の歴史を記録に残しておこうと思い、写真や動画などをたくさん盛り込んだ記念DVDとして作成し、総会出席者などに配布しました。

その中の動画に登場するMさん(物故)の奥様に進呈したところ、「画面の中で動いている主人に出会えて感動した」と礼状をいただいたのは嬉しい思い出です。

以上は、同窓会に欠かせない大切な三つの要素である(1)人集め(2)お金集め(3)記録

集めの活動そのものであります。

同窓会の活動は、世代を超えた人と人との繋がりで成り立っており、先代からお世話になった分を、次代に返していくことが大切と考える今日この頃です。

(2021年12月記)

【写真：上は筆者が最後の幹事となった第20回ゴルフコンペで43名参加、
前列右端が筆者（2013年10月29日）、
下は関東同窓会創立60周年記念DVDカバー】

